

# ドライブ ユーザガイド

© Copyright 2008 Hewlett-Packard  
Development Company, L.P.

Microsoft、Windows、および Windows  
Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国  
およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更される  
ことがあります。HP 製品およびサービスに  
関する保証は、当該製品およびサービスに  
付属の保証規定に明示的に記載されている  
ものに限られます。本書のいかなる内容  
も、当該保証に新たに保証を追加するもの  
ではありません。本書に記載されている製  
品情報は、日本国内で販売されていないも  
の含まれている場合があります。本書の  
内容につきましては万全を期しております  
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、  
省略に対して責任を負いかねますのでご了  
承ください。

初版：2008 年 11 月

製品番号：505967-291

## 製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデル  
に共通の機能について説明します。一部の  
機能は、お使いのコンピュータでは使用で  
きない場合があります。

# 目次

|   |    |
|---|----|
| <b>1 ドライブの取り扱い</b>                                  |    |
| <b>2 オプティカルドライブの使用（一部のモデルのみ）</b>                    |    |
| 取り付けられているオプティカルドライブの確認                              | 2  |
| オプティカルディスクの使用                                       | 3  |
| 正しいディスクの選択  | 4  |
| CD-R ディスク   | 4  |
| CD-RW ディスク  | 4  |
| DVD±R ディスク  | 4  |
| DVD±RW ディスク   | 4  |
| LightScribe DVD+R ディスク                              | 4  |
| ブルーレイ ディスク  | 5  |
| CD または DVD の再生                                      | 6  |
| 自動再生の設定   | 7  |
| DVD の地域設定の変更  | 8  |
| 著作権に関する警告   | 9  |
| CD または DVD のコピー                                     | 9  |
| CD および DVD の作成または「書き込み」                             | 10 |
| オプティカルディスク（CD または DVD）の取り出し                         | 11 |
| <b>3 ハードドライブパフォーマンスの向上</b>                          |    |
| ディスク デフラグの使用  | 12 |
| ディスク クリーンアップの使用                                     | 12 |
| <b>4 [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用</b> |    |
| [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認       | 14 |
| [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用    | 15 |
| <b>5 ハードドライブの交換</b>                                 |    |
| <b>6 SmartBay のドライブの交換</b>                          |    |
| <b>7 トラブルシューティング</b>                                |    |
| オプティカルディスクトレイが開かず、CD または DVD を取り出せない場合              | 23 |
| コンピュータがオプティカルドライブを検出しない場合                           | 24 |
| ディスクが再生されない場合                                       | 25 |
| ディスクが自動的に再生されない場合                                   | 26 |

|   |    |
|---|----|
| ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合 .....          | 27 |
| DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合 ..... | 27 |
| デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合 .....                    | 28 |
| 最新の HP デバイス ドライバの入手 .....                           | 28 |
| 最新の Windows デバイス ドライバの入手 .....                      | 29 |

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| <b>索引 .....</b> | <b>30</b> |
|-----------------|-----------|

---

# 1 ドライブの取り扱い「ハードドライブ」、 「オプティカルドライブ」

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピュータやドライブの損傷、またはデータの損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

コンピュータや外付けハードドライブの電源を入れたままある場所から別の場所へ移動させるような場合は、必ず事前にスリープを開始して画面表示が消えるまでお待ちください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブルドライブまたはコンピュータのコネクタピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティングシステムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカルドライブ（一部のモデルのみ）内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニールシートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノー取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルトコンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。

---

---

## 2 オプティカルドライブの使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピュータには、コンピュータの機能を拡張するオプティカルドライブが搭載されています。コンピュータに取り付けられているドライブの種類およびその機能を確認してください。オプティカルドライブを使用すると、データディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりすることができます。お使いのコンピュータにブルーレイディスクROMドライブが内蔵されている場合は、ディスクからHD対応動画を再生することもできます。

### 取り付けられているオプティカルドライブの確認

[スタート]→[コンピュータ]の順に選択します。

- DVD-ROM ドライブ
- DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ
- DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ（2層記録（DL）対応）
- LightScribe DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ（2層記録（DL）対応）
- スーパー マルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ディスク ROM ドライブ（2層記録（DL）対応）

 **注記：** 上記には、お使いのコンピュータでサポートされていないドライブが含まれている場合があります。

---

## オプティカル ディスクの使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD よりも大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD のディスクの読み取りができます。オプティカル ドライブがブルーレイ ディスク ROM ドライブである場合、ブルーレイ ディスクを読み取ることもできます。

☞ **注記：** 以下の一覧には、お使いのコンピュータでサポートされていないオプティカル ドライブが含まれている場合もあります。また、サポートされているオプティカル ドライブすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の一覧に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができるものもあります。

| オプティカル ドライブの種類  | CD-RW への書き込み | DVD±RW/R への書き込み | DVD+RW DL への書き込み | LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み |
|---|--------------|-----------------|------------------|--|
| スーパーマルチ DVD ±RW/CD-RW マルチドライブ（2層記録（DL）対応）             | 可            | 可               | 可                | 不可                                     |
| スーパーマルチ LightScribe DVD ±RW/CD-RW マルチドライブ（2層記録（DL）対応） | 可            | 可               | 可                | 可                                      |
| 2層記録スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ディスク ROM                 | 可            | 可               | 可                | 不可                                     |

△ **注意：** オーディオやビデオの劣化や情報の損失、またはオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリーブまたはハイバネーションを開始しないでください。

## 正しいディスクの選択

オプティカルドライブは、オプティカルディスク（CD および DVD）に対応しています。デジタルデータの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD は主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップ用に使用されます。DVD は CD と同じ形態ですが、容量は 6 ～ 7 倍になります。

 **注記：** お使いのコンピュータに取り付けられているオプティカルドライブによっては、ここで説明しているすべての種類のオプティカルディスクをサポートしていない場合もあります。

### CD-R ディスク

CD-R（一度だけ書き込み可能）ディスクは、永続的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオクリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピュータのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

### CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込み可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要があるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクトファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

### DVD±R ディスク

空の DVD±R ディスクは、大量の情報を永続的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

### DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD+RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最適です。

### LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホームビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオプレーヤでの読み取りに

対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

## ブルーレイ ディスク

BD とも呼ばれるブルーレイ ディスクは、HD 対応動画などのデジタル情報を保存する高密度オプティカル ディスクの形式です。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くになります。

通常は、以下の用途で使用します。

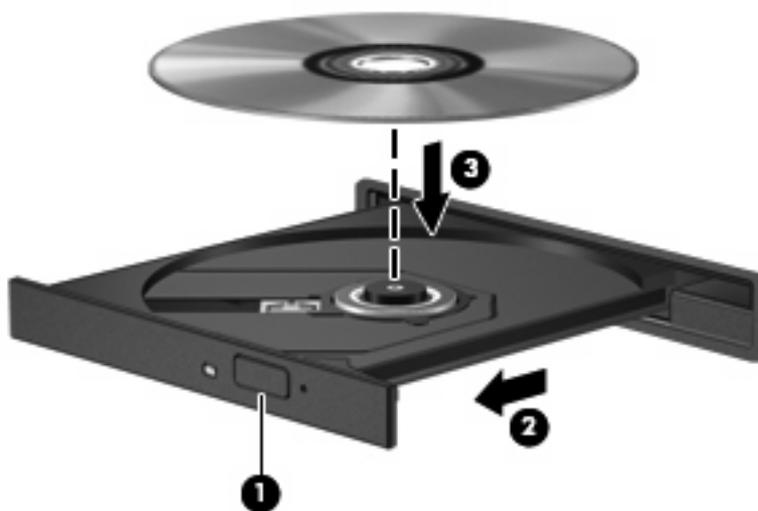
- 大量のデータの保存
- ハイビジョン動画の再生と保存

## CD または DVD の再生

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスク トレイを閉じます。

自動再生動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。メディアのコンテンツ (内容) をどのように扱うかについての選択を求められます。

## 自動再生の設定

1. [スタート] → [コントロール パネル] → [CD または他のメディアの自動再生]の順に選択します。
2. コンピュータ画面の左上にある[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [既定を選択する]をクリックし、一覧に表示されている各メディアの種類について、使用可能なオプションのどれかを選択します。
4. [保存]をクリックして選択を確定します。

---

 **注記：** 自動再生について詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

---

## DVD の地域設定の変更

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどの DVD には、地域コードも含まれています。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

DVD の地域コードが、お使いの DVD ドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれている DVD を再生できます。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域] タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コンピュータ]→[システムのプロパティ]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[デバイス マネージャ]をクリックします。

 **注記：** コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

3. [DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号 (+) をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に[プロパティ]をクリックします。
5. [DVD 地域] タブをクリックして、設定を変更します。
6. [OK] をクリックします。

## 著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** 情報の消失やディスクの損傷を防ぐために、以下のガイドラインに従ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリー電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。その情報をハードドライブに保存し、その後ハードドライブからコピー先のディスクに書き込みます。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

☞ **注記：** コンピュータに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

## CD または DVD のコピー

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[CyberLink DVD Suites] (CyberLink DVD スイート) → [Power2Go]の順に選択します。

2. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。

3. [Copy Disc] (ディスクのコピー) をクリックします。

[CyberLink Power2Go]がコピー元のディスクを読み取り、そのデータをハードドライブの一時フォルダにコピーします。

4. 指示が表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

データがコピーされると、作成したディスクは自動的に取り出されます。

## CD および DVD の作成または「書き込み」

コンピュータに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW オプティカルドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]や[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、データや、MP3 と WAV 音楽ファイルなどのオーディオファイルを書き込むことができます。動画ファイルを CD または DVD に書き込むには、[MyDVD]を使用します。

CD または DVD を書き込むときには、以下のガイドラインに従ってください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、すべてのプログラムを閉じてください。
- 通常、オーディオファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これは情報がコピーされた後、変更ができないためです。

 **注記：** [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- 家庭のステレオやカーステレオの一部には CD-RW を再生しないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- 通常、家庭用のシステムに採用されている DVD プレーヤは、一部の DVD フォーマットに対応していません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイルのフォーマットほどの容量を必要とせず、MP3 ディスクの作成プロセスは、データファイルの作成プロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。

CD または DVD を書き込むには、以下の操作を行います。

1. 書き込み元のファイルをハードドライブ上のフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD をオプティカルドライブに挿入します。
3. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。

 **注記：** サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

4. 作成する CD または DVD の種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. **[スタート]**を右クリックしてから**[エクスプローラ]**をクリックし、書き込み元のファイルが保存されているフォルダを表示します。
6. フォルダを開き、そのファイルを空のオプティカルディスクを含むドライブにドラッグします。
7. 選択したプログラムで指示されているとおりに書き込みプロセスを開始します。

特定の操作については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

- △ **注意：** 著作権に関する警告について確認してください。コンピュータプログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権で保護された素材を不正にコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

## 光学ディスク（CD または DVD）の取り出し

1. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します (2)。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの縁を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。



3. ディスク トレイを閉じて、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

## 3 ハードドライブパフォーマンスの向上

### ディスク デフラグの使用

コンピュータを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

いったんディスク デフラグを開始すれば、動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、ディスク デフラグの完了まで1時間以上かかることがあります。夜間やコンピュータにアクセスする必要のない時間帯などに実行されるように設定するとよいでしょう。

HP では、少なくとも1か月に1度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。ディスク デフラグは1か月に1度実行されるように設定することもできますが、手動でいつでもコンピュータのデフラグを実行できます。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [今すぐ最適化]をクリックします。

 **注記：** コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ツール ソフトウェアのヘルプを参照してください。

### ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

---

## 4 [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、入出力要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピュータを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピュータを移動した場合

これらのどちらかが発生して終了すると間もなく、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]はハードドライブを通常動作に戻します。

---

 **注記：** ハードドライブが SmartBay に取り付けられている場合、そのハードドライブは[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で保護されます。別売のドッキング デバイスに取り付けられているハードドライブまたは USB コネクタに接続されているハードドライブは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]では保護されません。

---

詳しくは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

## [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認

コンピュータのドライブランプが点灯し、ドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているか、または停止しているかを確認するには、[スタート]→[コントロールパネル]→[モバイルコンピュータ]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェックマークがハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤色のXがハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブアイコンに重なって表示されます。

 **注記：** [Windows モビリティ センター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

 **注記：** ユーザアカウント制御のウィンドウが表示されたら、[許可]をクリックします。

2. [システムトレイ上のアイコン]行で[表示]をクリックします。
3. [OK]をクリックします。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってドライブが停止された場合、コンピュータは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 以下に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

 **注記：** コンピュータがバッテリー電源で動作中に完全なローバッテリー状態になった場合は、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で停止されたドライブであってもハイバネーションが開始されません。

- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定するバッテリーアラームを有効にできない
- コンピュータを移動する前に、完全にシャットダウンさせるか、スリープまたはハイバネーションを開始することをおすすめします。

# [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアでは、以下のタスクを実行できます。

- [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]を有効または無効にする。

 **注記：** [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の有効または無効への切り替えが許可されているかどうかは、ユーザの権限によって異なります。Administrator グループのメンバは Administrator 以外のユーザ権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを起動して設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ウィンドウを開きます。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. [OK]をクリックします。

## 5 ハードドライブの交換

△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐために、以下の点に注意してください。

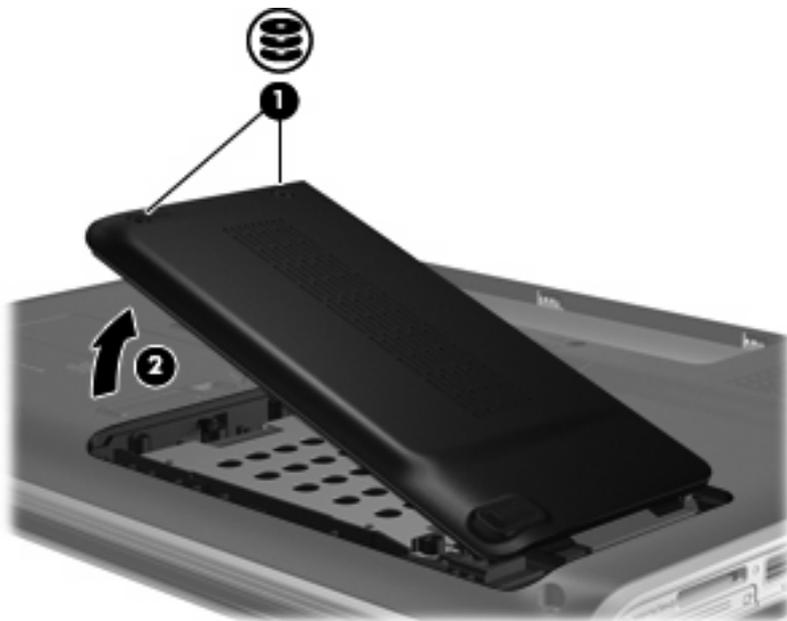
ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーションのときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

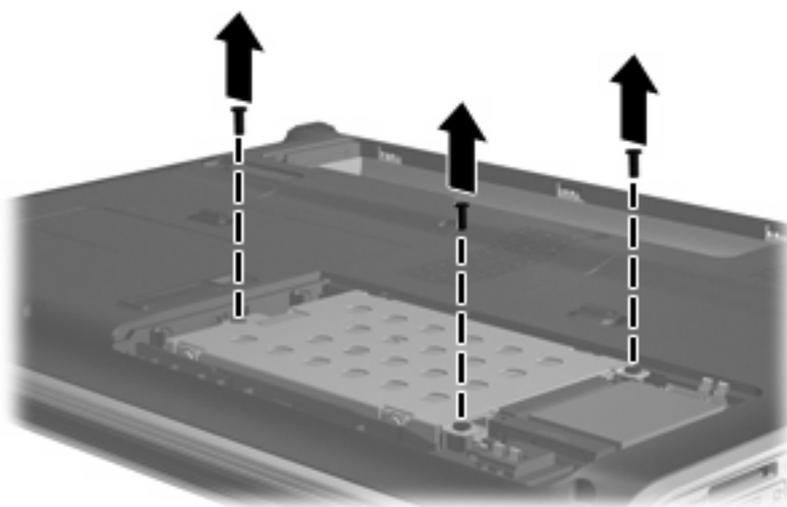
ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピュータの電源コネクタから AC アダプタを取り外します。
5. コンピュータを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーをコンピュータから取り外します。
7. ハードドライブ ベイが手前になるように置き、ハードドライブ カバーの 2 つのネジ (1) を緩めます。

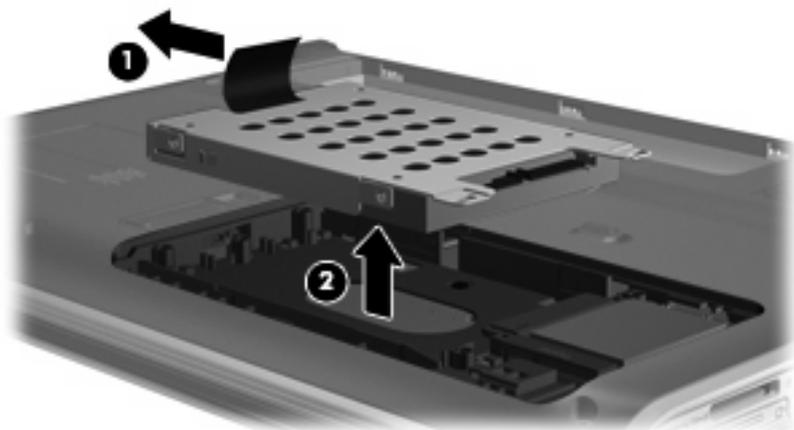
8. ハードドライブ カバーを持ち上げて (2)、コンピュータから取り外します。



9. ハードドライブの3つのネジを取り外します。

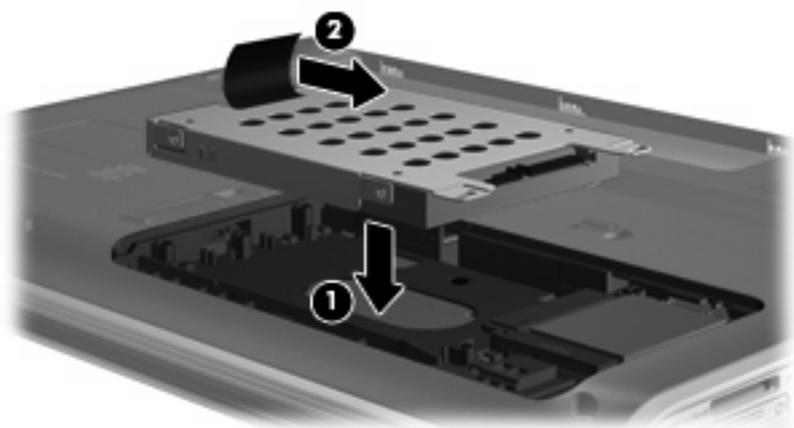


10. ハードドライブ タブを左側に引き (1)、ハードドライブをコンピュータから取り出します (2)。

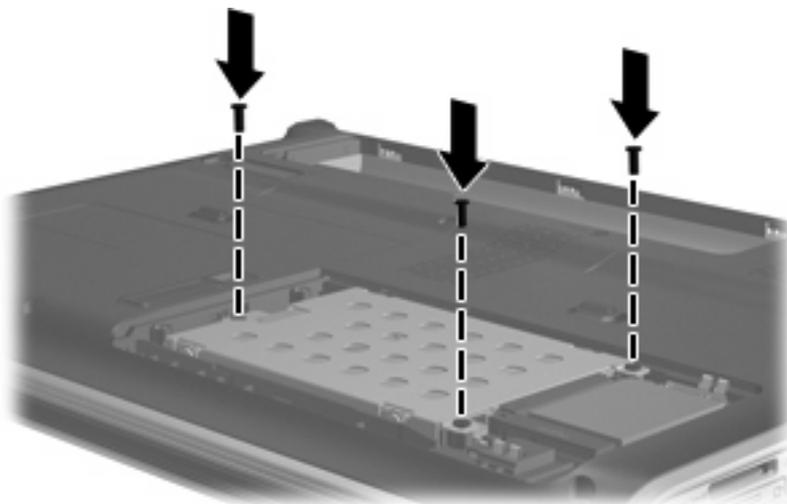


ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

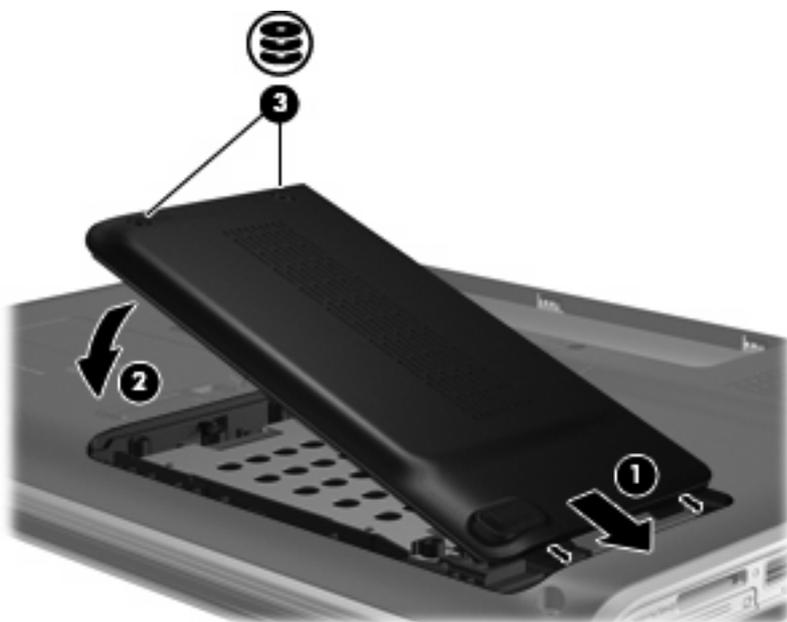
1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します (1)。
2. 確実に収まるまでハードドライブを右側にスライドさせます (2)。



3. ハードドライブの3つのネジを取り付けます。



4. ハードドライブカバーのタブ (1) を、コンピュータのくぼみに合わせます。
5. カバーを閉じます (2)。
6. ハードドライブカバーのネジ (3) を締めます。



## 6 SmartBay のドライブの交換

SmartBay には、オプティカル ドライブまたはハードドライブのどちらかを格納できます。

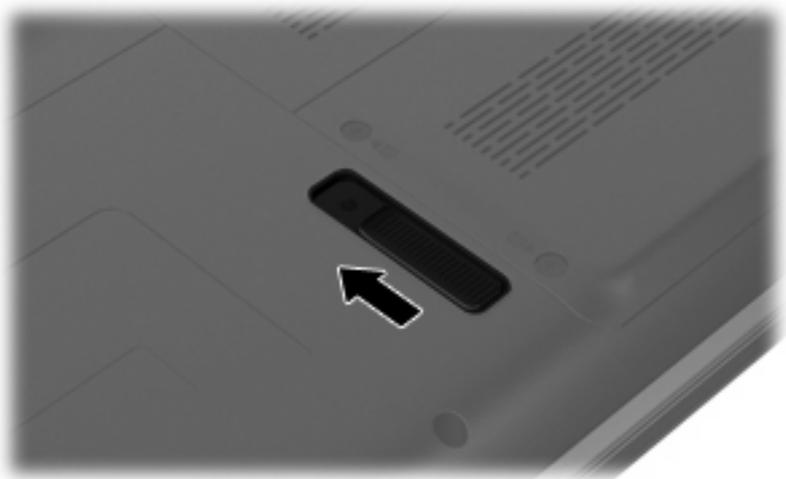
△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐために、以下の点に注意してください。

SmartBay からドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ドライブを取り外さないでください。

コンピュータの電源が切れているのかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

SmartBay からドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピュータの電源コネクタから AC アダプタを取り外します。
5. コンピュータを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーをコンピュータから取り外します。
7. SmartBay のリリース ラッチをスライドさせて、ドライブの固定を解除します。



8. ドライブを SmartBay ベイから取り出します。



ドライブを SmartBay に挿入するには、以下の操作を行います。

- ▲ ドライブを SmartBay に挿入し、確実に収まるまで押し込みます。



---

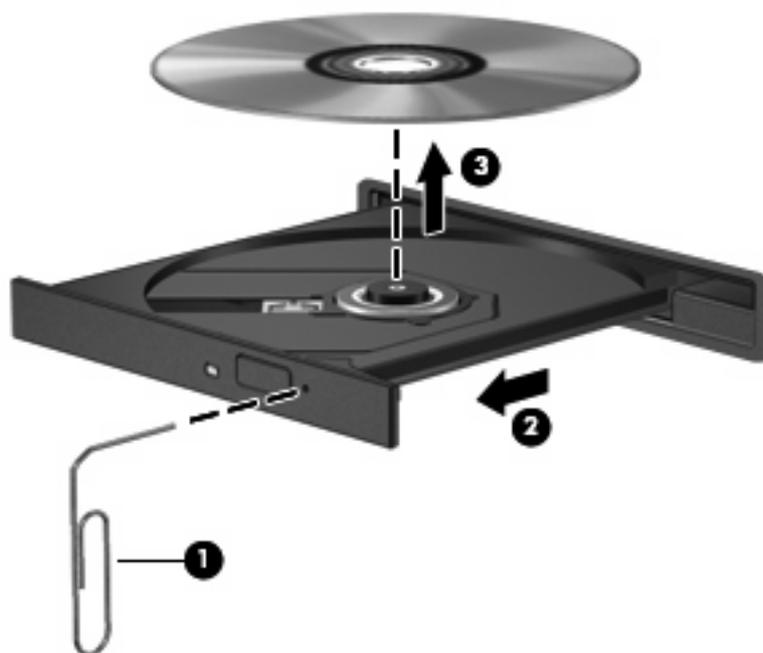
## 7 トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

## 光学ディスクトレイが開かず、CD または DVD を取り出せない場合

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスクトレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの縁を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。



4. ディスクトレイを閉じて、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

## コンピュータがオプティカルドライブを検出しない場合

Windows が取り付けられているデバイスを検出しない場合、そのデバイスのドライバソフトウェアがないか、壊れている可能性があります。DVD/CD-ROM ドライブの非検出が疑われる場合は、オプティカルドライブが[デバイス マネージャ]ユーティリティの一覧に含まれていることを確認します。

1. オプティカルドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]をクリックし、[検索の開始]ボックスに「デバイス マネージャ」と入力します。  
入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。
3. 結果の枠内で、[デバイス マネージャ]をクリックします。ユーザアカウント制御のウィンドウが表示されたら、[続行]をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（-）がすでに表示されている場合を除き、[DVD/CD-ROM ドライブ]の横のプラス記号（+）をクリックします。オプティカルドライブの一覧を確認します。

ドライブが表示されていない場合は、この項目の後半にある「デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合」の説明に沿って、デバイス ドライバをインストール（または再インストール）してください。

## ディスクが再生されない場合

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じてください。
- CD または DVD を再生する前にインターネットからログ オフしてください。
- ディスクを適切に挿入していることを確認してください。
- ディスクが清潔であることを確認してください。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃してください。ディスクの中心から外側の縁に向かって拭きます。
- ディスクに傷がないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

ディスクの再生中にはハイパネーションまたはスリープを開始しないでください。開始する場合、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると、コンピュータは以下のどちらかの方法で動作します。

- 再生が再開します。

または

- マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してからの再起動が必要になることもあります。
- システム リソースを増やすには、以下の操作を行います。
  - プリンタとスキャナの電源を切り、カメラと携帯電話デバイスの電源ケーブルを抜きます。プラグ アンド プレイ デバイスを取り外すと、貴重なシステム リソースが開放され、再生のパフォーマンスが向上します。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気になりません。
    1. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]**→**[画面の設定]**の順に選択します。
    2. **[画面の色]**を**[中 (16 ビット)]**に設定します (設定されていない場合)。

## ディスクが自動的に再生されない場合

1. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに「自動再生」と入力します。  
入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。
2. 結果の枠内で、**[自動再生]**をクリックします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
3. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]**チェック ボックスにチェックを入れ、**[保存]**をクリックします。

これで、CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入すると自動的に起動できるようになります。

## ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- その他のプログラムがすべて閉じられていることを確認します。
- スリープモードとハイバネーションをオフに切り替えます。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択して、もう一度試します。
- ディスクをコピーする場合は、コピー元のディスクの情報をハードドライブに保存してから、新しいディスクに内容を書き込み、その後でハードドライブから書き込んでください。
- [デバイス マネージ]ャの[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリに配置されている、ディスク書き込みドライバを再インストールします。

## DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

[MediaSmart]を使用して DVD を再生します。[MediaSmart]はコンピュータにインストールされています。また、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/>からも入手できます。

## デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合

1. オプティカルドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに「デバイス マネージャ」と入力します。  
入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。
3. 結果の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。ユーザアカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]で、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、アンインストールおよび再インストールするドライバの種類（DVD/CD-ROM やモデムなど）の横のプラス記号（＋）をクリックします。
5. 表示されているドライバをクリックし、**delete** キーを押します。確認のメッセージが表示されたら、ドライバを削除することを確認します。ただし、コンピュータは再起動しないでください。  
削除するその他のドライバでも同様の手順を繰り返します。
6. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、ツールバーの**[ハードウェア変更のスキャン]**アイコンをクリックします。Windows はシステムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバを必要とするデバイスに対して初期設定のドライバをインストールします。  
 **注記：** コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、開いているすべてのファイルを保存し、再起動して続行します。
7. 必要に応じて[デバイス マネージャ]を再度開き、ドライバが一覧に表示されていることを確認します。
8. プログラムを再度試行します。

初期設定のデバイス ドライバをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合は、以下の項目の手順に沿ってドライバを更新する必要があります。

## 最新の HP デバイス ドライバの入手

最新の HP デバイス ドライバは以下のどちらかの方法で入手できます。

- [HP Update Utility]（HP アップデート ユーティリティ）の使用
- HP の Web サイトの使用

[HP Update Utility]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Update]**（HP アップデート）の順に選択します。
2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックして、ユーティリティが Web 上のソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]**（次へ）をクリックして、HP ソフトウェアのアップデートをすぐに確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザを開いて、<http://www.hp.com/jp/support/>を表示します。
  2. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、[製品名・番号で検索]フィールドにお使いのコンピュータの製品名または製品番号を入力してから、**enter** キーを押します。
- または
- 特定の SoftPak が必要な場合は、[製品名・番号で検索]フィールドに SoftPak 番号を入力し、**enter** キーを押して直接検索することもできます。手順 6 に進んでください。
3. 一覧に表示されているモデルから特定の製品をクリックします。
  4. [Windows Vista®オペレーティング システム]をクリックします。
  5. ドライバの一覧が表示されたら、更新されたドライバをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
  6. ファイルをダウンロードしないで更新されたドライバをインストールするには、[Install now] (今すぐインストール) をクリックします。

または

コンピュータにファイルを保存するには、[Download only] (ダウンロードのみ) をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、[保存]をクリックしてお使いのハードドライブ上の保存場所を選択します。

ファイルがダウンロードされたら、ファイルが保存されたフォルダに移動し、インストールするファイルをダブルクリックします。

7. 画面に指示が表示されたら、インストールが終了した後でコンピュータを再起動し、デバイスの動作を確認します。

## 最新の Windows デバイス ドライバの入手

[Microsoft Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバを入手できます。この Windows の機能は、Windows オペレーティング システムとその他の Microsoft®製品に関する更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザを開いて、<http://www.microsoft.com/japan/>を表示します。
2. [セキュリティ & アップデート]をクリックします。
3. [Microsoft Update]をクリックしてコンピュータのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。
4. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、[続行]をクリックします。
5. [変更する]をクリックし、[Microsoft Update]が Windows オペレーティング システムとその他の Microsoft 製品へのアップデートを確認する時間を選択します。
6. コンピュータの再起動を要求するメッセージが表示されたら、お使いのコンピュータを再起動します。

# 索引

## 記号/数字

2層記録スーパー マルチ DVD±R/  
RW 対応ブルーレイ ディスク  
ROM 3

## C

CD  
書き込み 10, 27  
コピー 9  
再生 6  
ドライブ 2  
取り出し 11

## D

DVD  
書き込み 10, 27  
コピー 9  
再生 6  
地域設定の変更 8  
地域設定 8  
ドライブ 2  
取り出し 11

## H

HP ProtectSmart Hard Drive  
Protection 13

## S

SmartBay  
ドライブの交換 20  
ドライブの挿入 20

## お

オプティカル ディスク  
取り出し 11  
オプティカル ドライブ 2

## く

空港のセキュリティ装置 1

## し

自動再生 7

## す

スーパーマルチ DVD±RW/CD-RW  
マルチ ドライブ (2層記録  
(DL) 対応) 3  
スーパーマルチ LightScribe DVD  
±RW/CD-RW マルチ ドライブ  
(2層記録 (DL) 対応) 3

## そ

ソフトウェア  
ディスク クリーンアップ 12  
ディスク デフラグ 12

## ち

地域コード、DVD 8  
著作権の警告 9

## て

ディスク クリーンアップソフトウェ  
ア 12  
ディスク デフラグ ソフトウェ  
ア 12  
ディスク パフォーマンス 12  
デバイス ドライバ  
HP ドライバ 28  
Windows ドライバ 29

## と

ドライブ  
オプティカル 2  
取り扱いについて 1  
ハード 16, 18  
ランプ 14  
トラブルシューティング  
HP デバイス ドライバ 28  
Windows ドライバ 29

オプティカル ディスク トレ  
イ 23  
オプティカル ドライブの検  
出 24  
ディスクの書き込み 27  
ディスクの再生 25, 26  
デバイス ドライバ 28

## は

ハードドライブ  
HP ProtectSmart Hard Drive  
Protection 13  
交換 16  
取り付け 18  
取り外し 16

## め

メンテナンス  
ディスク クリーンアップ 12  
ディスク デフラグ 12

## ら

ランプ、ドライブ 14

